



桃豚通信

発行所

有限会社 ポークランド 有限会社 小坂クリーンセンター
有限会社 ファームランド 株式会社 まんまランド
有限会社 十和田湖高原ファーム

〒017-0201 秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1-2 TEL 0186-29-4000 FAX 0186-29-4002
URL http://www.momobuta.co.jp E-mail momobuta@ink.or.jp



リーファース

「生産情報公表豚肉」
JAS規格
平成16年11月認証取得

安心システム

平成16年9月認証取得



JAB

平成15年5月認証取得



FOOD ACTION NIPPON

私たちは、
FOOD ACTION NIPPONの
推進パートナーです。

「お米で育てた桃豚」を 美味しく食べて 日本の農業を元気に！

地域農業の活性化

飼料用米を植えることは、耕作放棄地を田んぼとして蘇らせられ、お米を作る農家が元氣を取り戻し、そこから出来るお米を飼料として与えることで、少しでも輸入穀物に頼らない「桃豚」の生産が可能になる、そして食料自給率の向上にも貢献できるのです。

しかも、「お米で育てた桃豚」の脂身は甘く、焼いても硬くならず柔らかいなど、好評価を得ており、様々な分野から期待されています。

多収穫、コスト削減が可能な 栽培方法の確立を目指して！

平成20年度当初、9haの作付から始まった飼料用米活用取組は、稲作農家の努力と関係団体の理解で85ha(秋田県内)まで拡大、飼料用米給与の頭数も18,000頭(平成21年度)に達しました。しかしながら飼料用米の取組には、コスト削減という大きな課題が残されています。私たちポークランドグループでは、県内の稲作農家に飼料用米の栽培を委託しているだけでなく、ポークランドグループ独自でも多収量品種の確立と低コストでの栽培を目的に試験栽培を平成20年より実践しています。

食料自給率の向上

食料の自給率は、その国の食料消費がどの程度、自国の生産でまかなえているかを示しています。日本の総合食料自給率は40%、飼料自給率に至っては25%と、食料の大半を海外からの輸入に依存する「食料輸入大国」となっています。では、私たち日本人の大切な主食となる米を作る水田はどうでしょうか。昭和43年をピークに徐々に水田が減り続け、昭和46年からの減反政策でさらに休耕田が増え続けています。日本全国で100万ha以上が現在減反している状況です。日本の農業を再生させ、安全・安心な食物を作る意味でも食料自給率の向上は大切です。

養豚を中心とした地域循環型農業の二環として、
稲作農家と連携し、飼料用米への取り組みを実践しています。



東京ドーム 約18個分が水田として復活！

桃豚18,000頭へ飼料用米を給与するために必要な作付を地元農家のほか、県内の稲作農家と連携し、減反田や休耕田約85haを水田に योगがえらしました。

JAあきた北央
全国初新規需要米専用
カントリーエレベーター
稼働開始

平成19年に水害に遭い、遊休施設として稼働を停止していた、JAあきた北央カントリーエレベーターが改修後、飼料用米専用施設として稼働を迎え、10月16日(金)パルシステム生活協同組合連合会、ポークランドグループ、JA関係者が出席し、現地で始動式が行われました。施設説明等の終了後、飼料用米の取組について記者説明会が行われました。その後、場所を移動して行われた飼料用米を給与して飼育された比内地鶏と、「日本のこめ豚」の試食は、どちらも出席した方々に好評価を頂きました。

▶竣工式を祝う鐘開き

JAあきた北央
全国初新規需要米専用
カントリーエレベーター
稼働開始

平成19年に水害に遭い、遊休施設として稼働を停止していた、JAあきた北央カントリーエレベーターが改修後、飼料用米専用施設として稼働を迎え、10月16日(金)パルシステム生活協同組合連合会、ポークランドグループ、JA関係者が出席し、現地で始動式が行われました。施設説明等の終了後、飼料用米の取組について記者説明会が行われました。その後、場所を移動して行われた飼料用米を給与して飼育された比内地鶏と、「日本のこめ豚」の試食は、どちらも出席した方々に好評価を頂きました。

▶竣工式を祝う鐘開き

ポークランドグループ
平成21年度の
飼料用米を給与する頭数
18,000頭

前年度比
約5倍強へ
拡大

給与するために
必要な飼料用米の量
約500t

飼料用米確保の
県内作付面積
約85ha

水田の通年活用による
自然環境の保全

田んぼに水がたたまえられ、青々とした稲が風に揺れる。美しい日本の原風景です。

水をたたえた田んぼは地表の温度を下げ、地球温暖化を抑える効果も期待できます。また、田んぼから地下へ浸透する水を浄化する働きもあり、地下水をキレイにする役割も担っています。

未来を担う子供達へ美しい自然環境を残すためにも「飼料用米」の取り組みは今注目を集めています。

2009年の新たな取り組み

(株)まんまランド いよいよ始動!!

私たちポークランドグループの長年の夢でありました、ハム・ソーセージの加工場を担う、まんまランドの工事が2009年12月より着工しました。ハム・ソーセージの本場ドイツでは町のお肉屋さんはもちろん、養豚農家さんも自分で飼っている豚を材料に自家製のハム・ソーセージを作るそうです。現在は2010年3月末の完成を目指し建物を建設中で、場所は東北自動車道小坂ICから十和田湖に向かう県道(通称:樹海ライン)沿い。周辺には日本の滝100選に



選ばれた「七滝」もあり、春から秋にかけての行楽シーズンには多くの観光客で賑わう場所です。

自分たちで育てた「桃豚」を、自分たちでハム・ソーセージに加工できる喜びや美味しさを多くの方々に届けようという思いで頑張りますので、応援宜しくお願い致します。

詳しいオープン時期や加工場の詳しい情報はもう少しお待ちくださいませ。

小坂発「有機栽培にんじん」が 首都圏へ向け、本格出荷!



「桃豚」の糞尿で作られる完熟堆肥・生物活性水を利用した、循環型農業で無農薬・無化学肥料での有機栽培にんじんの作付面積を2008年の4.2haから2009年は5haへと拡大しました。

今年から自社トラック便を加えた供給体制を整え、首都圏へ向け本格出荷が開始されました。しかし、今年も有機での野菜作りは自然との戦いを余儀なくされました。夏場の低温でにんじんの生育が大幅に遅れたのとゲリラ豪雨により畑の一部が流されるなどの被害が発生、計画より減収となってしまい、改めて自然の力の大きさを痛



感する園芸担当者なものでした。

でも、肝心の食味は良好!糖度もバツグン!!で、食べられた消費者からは「甘くて他のにんじんとは全然違う!」という感想も寄せられました。



7月には取引先であるハルシステムの職員の方々から、除草剤を散布しないため草ぼうぼうのにんじん畑で草取りをしていただきました。(感謝!感謝!!です。By園芸担当:板橋)

※注)この画像は桃豚に逃げられたものではありません。
当グループ内の牧草地で放牧を始めました。その名も「桃豚de放牧」

もっと「桃豚」が喜ぶ環境作りに向けて… 桃豚de放牧&新バイオベット豚舎への取り組み

今年6月から始まった放牧は雪が降り積もる12月末まで行われ、広い牧草地を駆け回る姿は豚にとって幸せそのもの!それを見ている人間もほのぼのとしてきます。夏の暑さや冬の寒さにも耐え、育ってくれた反面、沢山の課題も生まれ、



今後はその課題一つづつ解決していきたいと思っています。

また、平成16年より取り組んでいるバイオベット(踏み込み発酵床)豚舎での「桃豚」飼育を2009年は更に一歩進んだ形で取り組みました。今まで自社で生産される完熟堆肥を主な床材として利用していましたが「もみ殻」や「おが屑」など地場で発生する資材を独自の技術で発酵させ活用する方法を試みました。フカフカの床材の上では放牧同様、駆け回る桃豚の姿が…そうかと思うと、横たわってぐっすりお昼寝…ZZZ…とても快適なようです。今後は「もみ殻」や「稲わら」などの有効活用に向け地域と協力し、資材の回収システムを構築していきたいと思っています。



そして2010年…私たちは新しいプロジェクトへ 取り組んで参ります!



《新農場建設プロジェクト》
・バイオベッドシステム確立(BBS)
食料自給率の向上にむけて、畜産・農産物の資源有効活用
低コスト豚舎での生産システム確立とAWQ(アニマルウェルフェア)オリティ=動物福祉の品質)生産の確立

《自給率向上プロジェクト》
・飼料米循環システム確立
飼料米等畜産自給飼料生産畜養等の有効活用の推進
もみ殻・稲わらの回収システム構築
・耕作放棄地開墾システム確立
豚の放牧による耕作放棄地の開墾有休農地の再生
・エコフィードシステム確立
廃棄物の再利用化による無駄の削減
パンの飼料化 野菜くすの飼料化



今年も「農業で幸せになろう」を合い言葉に、元気に!まじめに!!農業に取り組んで参りますので、ご声援宜しくお願い致します。

ポークランドグループ代表 豊下勝彦



新CM完成 放映中!

ホームページTOPにバナーがあります。
視聴できますので是非ご覧ください。

ポークランドグループ公式ホームページ
<http://www.momobuta.co.jp>
桃豚オンラインショッピング
<http://www.momobuta.com>



こまちスタジアムに「桃豚」!

プロ野球公式戦も行われる秋田県立野球場こまちスタジアムに、
フェンス広告が完成しました。野球の後は「桃豚」でスタミナ補給
したくなるかも!?



大鍋がイベントで大活躍!

直径約2メートル、深さは約70cm。
この大鍋で約1000食あまりの桃豚豚汁が作れます。
試食イベントに並んでいたお客様との
コミュニケーションも楽しく、
「大鍋」コーナーは大人気でした。



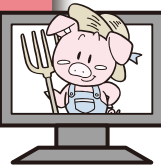
こ～んなにたくさん TV出演 しました!!

●平成21年8月14日(金)
農業で幸せになろう!
～ピンクの豚で桃色の幸せ～
ABS秋田放送

55分
特別番組



「桃豚」生産を中心とした様々な
取り組みを紹介する特別番組が
放送されました。



●平成21年4月11日(土)
クボタ民謡お国めぐり
AKT秋田テレビ

ポークランド桃豚直売所「こもも」が
紹介されました!

●平成21年7月25日(土)
**青森・秋田・岩手
ナツ得テレビ2009**
RAB青森放送、ABS秋田放送、
TVIテレビ岩手

北東北3県合同の生放送番組で
「桃豚」が紹介されました!



●平成21年8月8日(土)
**JAみどりの広場
“ちょっとそこまで”コーナー**
AKT秋田テレビ

ポークランド桃豚直売所「こもも」が
取材を受け、桃豚のほか当グループで
育てた無農薬栽培の夏野菜について
も紹介させていただきました。



●平成22年1月13日(水) **全国放送**
1億人の大質問!?笑ってコラえて!
“ダーツの旅”コーナー
日本テレビ系列

小坂町の地元飯として「桃豚しゃ
ぶしゃぶ」が紹介されました!



スタジオ収録では所さん
にも食べていただきました。



社員への突撃インタ
ビューもありました。

日本の農業を  元気にしたい!
私たちは **桃豚** のポークランドグループです。



新しく 総勢15名が 入社しました 平成21年	総務部管理課 花田 新 (51歳) H21.1.1入社 朝礼で社長が言った社員の3・6・3、最初の3を常に意識しながら邁進します。	十和田湖高原ファーム 肥育部 小田島隆臣 (26歳) H21.2.1入社 向上心をモットーに仕事を楽しみたい。	ポークランド 肥育部 高橋達也 (30歳) H21.2.1入社 優しい先輩達に囲まれて毎日楽しく仕事させてもらっています。分からない事もまだあるので、「日々勉強」の気持ち忘れずに仕事に取り組んでいきたいです。	小坂クリーンセンター 土館一虎 (35歳) H21.2.1入社 仕事にも少し慣れてきましたが、まだまだ分からないことだらけなので、日々精進していきたいです。	小坂クリーンセンター 藤井将雄 (41歳) H21.3.1入社 先輩方のアドバイスをよく聞き、戦力になれるよう頑張りたいです。	ポークランド 繁殖部 工藤洋祐 (19歳) H21.4.1入社 まだまだわからない事などありますが、先輩達に聞いたりして頑張りたいと思います。	十和田湖高原ファーム 繁殖部 木村祐亮 (24歳) H21.4.1入社 毎日が勉強ですが、楽しく作業をさせてもらっています。
総務販売部 田中留依 (25歳) H21.4.1入社 これまで経験したことのない出来事ばかりで、毎日が発見と驚きの連続です。まだまだ分からないことばかりですが、日々努力し、一歩も無駄にしないように仕事に励みたいと思います。	ファーム 繁殖部 泉 聡 (28歳) H21.7.1入社 入社して半年が経ち、まだ分からない事もたくさんあるので、色々聞きながら仕事を頑張らせていただきます。	十和田湖高原ファーム 繁殖部 佐藤 修 (36歳) H21.7.1入社 日々学ぶことが多く、毎日が勉強です。まだまだ未熟ですが、これからも宜しくお願いします。	生産部 山口秀幸 (27歳) H21.9.1入社 まだまだ分からないことが多々ありますが、1日1日を大切に頑張ります。	十和田湖高原ファーム 繁殖部 石井崇吉 (29歳) H21.10.1入社 1日1日を無駄にしないように頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。	ポークランド 分焼部 銭盛慎一 (39歳) H21.10.1入社 分焼は細かい作業が多いので色々アドバイスを聞きながらより良い仔豚を育てたいと思います。	桃豚直売所 「こもも」 川瀬 恵 (31歳) H21.11.1入社 安全運転で配達がんばります!	桃豚直売所 「こもも」 菅原 なな (23歳) H21.11.1入社 仕事の内容をしっかりと覚えてがんばりたいと思います。

飼料用米を添加した 配合飼料で育てた豚の出荷が開始	1月 建設工 「まんまランド」の 食肉加工施設	12月 農林水産省主催「飼料用米シンポジウム」において飼料用米への当グループの取り組みを事例発表	12月12日 アニマルケア国際会議において当グループのアニマルウェルフェアへの取り組みを事例発表	11月29日 桃豚直売所「こもも」 一周年感謝祭開催	11月8日 小坂町社会人バスケットボール大会でポークランドバスケット部が優勝	10月17日 小坂町「食と農の祭典」で桃豚豚汁を直径2mの大鍋で調理	10月16日 新規需要米 カントリーエレベーター竣工式	平成21年度の出来事
--------------------------------------	--	---	---	---	---	---	--	-------------------